

< セミナーのご案内 >

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 358 (通算 689 回)

2017 年 12 月 15 日 (金)

第 4 次産業革命・Society 5.0 に向けて――

データサイエンス人材の育成と教学展開


～ビッグデータ・IoT・AI / 深刻な人材不足 / カリキュラム / 教員編成～

- ※ [横浜市大] データサイエンス学部設立の経緯 / 入口・出口調査 / カリキュラム / 行・産連携
- ※ [東京工科大] コンピュータサイエンス学部 / IoT・AI 等の ICT 実学教育の挑戦と実際
- ※ [滋賀大] 日本初のデータサイエンス学部 / ビッグデータの処理・分析・価値創造 / 文理融合型
- ※ [多摩大] 大学院ビジネスデータサイエンスコース / 「知」の再武装 / MBA コースとの協働

● 講師陣 ●

岩崎 学 氏 / (公) 横浜市立大学 データサイエンス推進センター長
 亀田 弘之 氏 / 東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 教授
 パイオ・情報メディア研究科長
 高田 聖治 氏 / (国) 滋賀大学 データサイエンス学部 副学部長
 今泉 忠 氏 / 多摩大学 大学院 経営情報学研究科 教授

2017 年 12 月 15 日 (金) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

 地域科学研究会
 高等教育情報センター

日 時：2017 年 12 月 15 日 (金) 10:30～16:50

会 場：日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

アクセス：東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」
A1 出口より徒歩 3 分

<http://www.jec.or.jp/koutuu/>

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 42,000 円 (送料、税込)

C. 高等教育同人 (☆) 20,000 円 (税込)

※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。

※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認願います。

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。メールアドレスをご登録くださいませ。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

口座名 < (株) 地域科学研究会 >

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 358

年 月 日

データサイエンス人材の育成と教学展開

(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加

勤務先 _____

支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込

所在地 〒 _____

必要書類 □請求書 □見積書 □領収書

(書類宛名 _____)

TEL _____ FAX _____

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:30 }	<p>□ [横浜市立大] データサイエンス学部設立の経緯と教学プラン ～ 市場調査/現場実践力の養成/カリキュラム教員編成 ～</p> <p style="text-align: right;">横浜市立大学 岩崎 学</p> <p>1. 横浜市立大学の現在と未来 (1) 国際都市横浜と横浜市立大学 (2) 世界ランキングに見る横浜市立大学 (3) 横浜市立大学の教育</p> <p>2. データサイエンス学部の概要 (1) データサイエンス学部設立の経緯 (2) データサイエンス学部のカリキュラム (3) データサイエンス学部の入口・出口</p> <p>3. データサイエンス学部のこれから (1) 横浜市および各企業との連携 (2) 世界のデータサイエンス学部の研究・教育と横浜市大の今後の発展</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:50 }	<p>□ [東京工科大] コンピュータサイエンス学部の教学展開 ～ IoT・AI等のICT実学への挑戦と実際 ～</p> <p style="text-align: right;">東京工科大学 亀田 弘之</p> <p>1. 東京工科大学コンピュータサイエンスの理念 (1) コンピュータサイエンス学部の理念と課題 (2) PBL ベースソフトウェア教育の実践 (3) タンジブル・ソフトウェア教育プロジェクトの提案・実践とその顛末</p> <p>2. 様々な教授法に基づくソフトウェア教育の設計・実践 (1) learning by creating 型教育の試み (2) Mindstorms を活用したプログラミング教育の実践 (3) ビジネスも視野に入れた PBL 型ソフトウェア教育の実践</p> <p>3. IoT・AI・ビッグデータ時代に求められる新たな人物像とその実践的教育への挑戦 (1) 新たな人物像と選抜者対象プロジェクト実習の立上げ (2) 各種プロジェクト実習の紹介 (3) 21世紀における ICT 実学教育と課題</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:00 }	<p>□ [滋賀大] データサイエンス学部の教学展開 ～ ビッグデータの処理・分析・価値創造/文理融合型カリキュラムの実際～</p> <p style="text-align: right;">滋賀大学 高田 聖治</p> <p>1. 日本初！ 滋賀大学データサイエンス学部の挑戦 (1) ビッグデータ時代の到来 (2) 滋賀大学データサイエンス学部の誕生 (3) 大学院データサイエンス研究科設立を目指して</p> <p>2. 滋賀大学データサイエンス学部の目指すもの (1) データサイエンティストに必要なスキルとは (2) われわれの目指す育成人材像</p> <p>3. 滋賀大学データサイエンス学部のカリキュラム (1) 滋賀大学のカリキュラム構成 (2) 課題解決型 (PBL) 演習 (3) 文理融合型カリキュラム (4) データサイエンスによる価値創造</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:30 }	<p>□ [多摩大] 大学院ビジネスデータサイエンスコースの教学運営 ～ 「ビジネス」データの分析・活用・管理力/高度経営人材の養成～</p> <p style="text-align: right;">多摩大学 今泉 忠</p> <p>1. 「知」の再武装のために社会人大学院に求められるデータサイエンス (1) どのような課題を解決したいのか (2) 「ビジネス」データの特徴 (3) データを活用すると「経験」は越えられるか？</p> <p>2. AI×ビッグデータでビジネス課題は解決できるか (1) 2カ年パートタイム学生への教育 (2) 分析プロセスの見える化を活用する (3) MBA コースとの協働の必要性</p> <p>3. コースから「～専門」設置へ (1) ビジネスでの T 型人材の育成で十分か (2) 課題解決のための「大局観」×「応用力」 (3) 教学体制の構築とその運営 (4) まとめ</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>